

安心・安全社会を実現する科学技術

要望額：46億円

資料2-5

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
安全・安心科学技術委員会(第30回) H23. 10. 25

※運営費交付金中の推計額を含む

自然災害、事故をはじめとする様々な脅威や、社会構造の複雑化に伴い多様化する危機に対処し、国民が安心・安全に生活できる社会を実現するための科学技術を重点的に推進する。

災害に強い社会作り実現プロジェクト

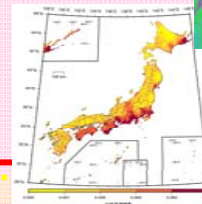
要望額：20億円

東日本大震災を踏まえ、自治体等の防災・減災等に役立つ事前のハザード情報（津波・地震等）の提供や、広域複合災害に対応した災害情報提供の強化に向けた調査研究を実施し、「災害に強い社会づくり」を実現する。

- ・都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト
- ・地震動予測地図の高度化、全国津波予測地図の作成
- ・広域同時進行型複合災害に強い社会基盤づくりに向けた研究開発



地震動予測地図



要望額：7億円

安全・安心な都市・地域づくりを目指し、人的・複合的な種々の災害や環境変化に対して、強くしなやかに、かつ持続可能な形で対応できる社会を実現するため、自然科学と人文・社会科学を融合した実践型研究開発等を行う。



- ・リアルタイム避難誘導システムの構築
- ・住民参加の取組を通じたリスクリテラシー向上
- ・地域のリスクコミュニケーション活動の推進、及びリスク評価手法の確立と合意形成
- ・大学を核とした地域防災コミュニティの構築

安全・安心な社会・都市・地域構築のための研究開発の推進

国民・社会の安心と安全

原子力発電施設等の周辺における環境放射線の監視に必要な設備等を拡充し、我が国の原子力防災体制を強化する。



モニタリングステーション



原子力センターテレメータ室



表示装置

原子力施設の立地・隣接地域における環境モニタリング体制の強化

要望額：20億円